



平成 30 年 (2018 年) 9 月 8 日 (土)

広島市安佐動物公園 活性化担当課長：木下
担当：企画広報係 嶋田 ☎082-838-1111

長寿世界一 クロサイのハナが死亡

安佐動物公園のクロサイのハナ（雌、推定 52 才）が 9 月 8 日の朝死亡しました。

1 ハナの経歴

ハナは昭和 46 年 (1971 年) 7 月 14 日、雄のクロとともにケニアから来園しました。野生個体で、推定年齢 5 歳（クロは推定 4 歳）のまだ若い個体でした。

2 頭の間には昭和 52 年 (1977 年) に初めての子どもが生まれ、以来平成 7 年 (1995 年) までの間に 10 頭の子どもをもうけました。ハナの 10 頭出産という記録は一時多産の世界記録（現在では世界 2 位）だったほどです。10 頭の子どものうちの 8 頭は国内外の動物園に移動して繁殖し、現在ではハナの来孫（らいそん）が誕生するなど、飼育下クロサイの種の保存に大きな役割を果たしてきました。

クロとハナは平成 11 年 (1999 年)、次世代のクロサイたちに展示場を譲り、第 2 クロサイ舎に引っ越しました。ハナは平成 27 年 (2015 年) に当時の長寿世界記録 49 歳に並び、以降は記録を更新してきました（出生日が不明のため来園した 7 月 14 日を誕生記念日と設定）。

2 死亡の経緯

ハナは、これまで死亡に至るような大きな病気をすることなく過ごしてきました。9 月 7 日は、通常通り運動場に出してお気に入りのヌタ場でごろごろするなど、日中は特に異常はみられませんでしたが、夕方、部屋に入ってから軽いふらつきと低体温、意識の軽度混濁が見られたため、部屋を暖め、軽い強心作用および興奮作用のある薬剤を注射しました。この際、ふらつきはまだあるものの、注射に対して怒るなど、意識状態の改善がみられたため、部屋の保温などの対応をして夜を過ごさせましたが、翌 8 日朝、室内で横たわって死亡していました。周囲の敷き藁が乱れておらず、部屋の中央で横たわっていたことから苦しむことなく死亡したものと推測されます。今後は、病理解剖を行い死因を調べますが、老衰により天寿を全うしたことは疑いようがありません。

3 献花台の設置

献花台を下記の内容で設置します。

- (1) 日程 平成 30 年 9 月 9 日 (日) ~ 9 月 24 日 (月・祝)
- (2) 場所 安佐動物公園 入退場門
- (3) 内容 献花台とメッセージノートを設置します。



平成 30 年 7 月 14 日撮影

開園時間 午前 9 時から午後 4 時 30 分まで（ただし、入園は午後 4 時まで）

入園料 大人 510 円、65 歳以上・小人（高校生および高校生相当年齢）170 円 ※中学生以下無料
※65 歳以上の適用には公的証明書が必要

休園日 毎週木曜日（10 月の木曜日、祝日の場合は開園）